

夏の風物詩、第40回小金井阿波おどり 署員も踊って火の用心をアピール

東京消防庁小金井消防署

平成30年7月29日、「第40回小金井阿波おどり大会」が開催され、当署職員も小金井市役所連の一員として参加しました。火消しの心意気を表す半纏デザインの消防の法被姿で街中を流し踊り「火の用心」を呼びかけながら小金井市民と交流しました。また、消防団と連携してミニ防火衣での写真撮影コーナーなどを設け、広く市民に防火防災をアピールすることができました。



山林事故救助訓練

豊橋市消防本部

豊橋市消防本部は、秋の行楽シーズンを迎え、登山者の山林事故に備えるため、9月21日（金）、本市の北部、愛知県と静岡県の間境に連なる弓張山地に位置する石巻山（標高358m）において、山林事故救助訓練を実施しました。訓練は「30代の夫婦が下山する際、山頂付近の階段から足を踏み外し約7メートル転落、女性は骨盤骨折、男性は右足を打撲した」との想定で行い、足場の悪い岩場における担架搬送の難しさや、要救助者の容態悪化への対応など実りのある訓練となりました。



消防通信

望

楼

ぼうろう

危険物安全月間に伴う合同訓練を実施

堺市消防局

堺市堺消防署では6月9日、丸全昭和運輸(株)関西支店堺倉庫営業所（堺区築港八幡町）と危険物安全月間に伴う合同訓練を実施しました。

本訓練は、危険物安全月間中の一環行事として実施したもので、公設消防隊からは消防車両4台14名、自衛消防隊は50名が参加しました。自衛消防隊による初動措置・通報・消火・避難誘導を実施し、公設消防隊への情報提供等の連携強化を図りました。また、公設消防隊は大型スノーケル車からの放水や救急隊による救護活動を行い、双方にとって有意義な訓練となりました。



集団救急救助対応（無差別殺傷テロ）訓練を実施

和歌山市消防局

当消防局では、来年、大阪で主要20か国首脳会議が開かれることなどから、JR西日本や和歌山電鐵、県警察本部と合同で集団救急救助対応（無差別殺傷テロ）訓練を9月14日に実施しました。



訓練は、駅構内で多くの人が刃物で襲われ、負傷しているという想定で行い、トリアージ（スタート法、PAT法）により搬送順位をつける方法や関係機関との調整を行いながら安全管理や現場指揮を行うことについて技術を確認しました。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】